平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名　大日精化工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4116　URL　http://www.daicolor.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高橋　弘二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役理財部門担当　(氏名) 武市　義彦　TEL 03-3662-7111

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	38,600	△2.7	2,991	15.8	3,109	16.8	1,820	38.0
24年3月期第1四半期	39,661	△0.7	2,583	△4.6	2,662	4.9	1,319	△32.8

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　2,192百万円　(12.6%)　24年3月期第1四半期　1,947百万円　(40.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	19.60	―
24年3月期第1四半期	14.21	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	156,057	52,309	32.5	546.88
24年3月期	152,405	50,684	32.3	530.51

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　50,780百万円　24年3月期　49,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	6.00	―	6.00	12.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		6.00	―	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	78,000	△0.9	4,300	△7.2	4,400	△1.3	2,300	△2.7	24.77
通期	160,000	2.5	9,100	6.8	9,100	6.7	5,400	25.2	58.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	93,065,554 株	24年3月期	93,065,554 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	210,200 株	24年3月期	209,430 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	92,855,657 株	24年3月期1Q	92,859,381 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期における我が国経済は、震災復興需要やエコカー補助金などの政策効果により、個人消費が増加するなど、内需主導で緩やかな回復基調を辿りました。しかしながら、長期化する円高や欧州債務問題に伴う海外経済の減速懸念など、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。海外経済におきましては、アジア地域のうち、中国では内需は底堅く推移しましたが、欧州経済低迷の影響を受け輸出が減少するなど全体としては伸び悩みました。米国では、緩やかな回復基調が続いておりますが、欧州では、債務問題の影響により景気は低迷いたしました。

このような状況の中で、売上高は、洪水被害を受けたタイ子会社の復旧途上による売上高の減少の影響もあり386億円(前年同期比2.7%減)となりました。利益面につきましては、営業利益は売上原価の改善や販売費及び一般管理費を削減したことなどにより29億９千１百万円（同15.8%増）、経常利益は31億９百万円（同16.8%増）となり、四半期純利益は特別損失の投資有価証券評価損が大幅に減少したことなどにより18億２千万円（同38.0%増）となりました。

次に事業セグメントの業績についてご報告いたします。

なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

（化成品事業）

当事業は、無機・有機顔料、各種着色剤、情報記録材料の製造・販売を行なっております。印刷インキ業界向けを中心とした汎用顔料は、減少傾向で推移しましたが、建材業界向け並びにIT関連業界向けは各業界の在庫積み増し政策などにより堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は61億２千５百万円（同6.3%減）となり、営業利益は11億４千９百万円（同4.4%増）となりました。

（化学品事業）

当事業は、各種合成樹脂着色剤・コンパウンド、各種コート材の製造・販売を行なっております。車両業界向けの各種コンパウンドは、国内車両生産の回復基調が継続した事に加え、エコカー補助金などの経済政策を受け好調に推移しました。また、生活関連業界向けの合成樹脂着色剤は全体的に堅調な受注が続きました。しかしながら、洪水被害を受けたタイ子会社の復旧途上による売上高の減少の影響を受け、事業全体としては前年並みの水準には至りませんでした。

これらの結果、当セグメントの売上高は204億８千８百万円（同1.3%減）となり、営業利益は16億１千１百万円（同3.0%減）となりました。

（高分子事業）

当事業は、高分子製品、天然高分子製品の製造・販売を行っております。各種ウレタン樹脂は、エコカー補助金などの経済政策に支えられ車両業界向けを中心に好調に推移しました。また、繊維業界向けのウレタン樹脂も引き続き堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は42億７百万円（同1.3%増）となり、営業利益は７億７千５百万円（同25.3%増）となりました。

（印刷総合システム事業）

当事業は、各種印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。グラビアインキは飲料・食品関連などのパッケージ業界向けが底堅く推移し、オフセットインキは流通関連の需要を中心に商業印刷業界向けが堅調に推移しました。利益面につきましては、販売価格の改定や売上原価の改善などにより大幅な増益となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は72億７千６百万円（同5.7%減）となり、営業利益は６億３千１百万円（同51.7%増）となりました。

（その他事業）

当事業は、原材料の転売、グループ各社への不動産賃貸及び金融事業等を行なっております。

当セグメントの売上高は５億３百万円(同0.9%増)となりました。営業損益は、不動産賃貸にかかる収入を売上高に含めず営業外収益として計上したことなどにより、４千３百万円の損失となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末の総資産は1,560億５千７百万円となり、前連結会計年度末と比べ36億５千１百万円増加致しました。これは、在庫の手当などにより流動資産が31億８千３百万円増加したこと及び工場の新設により有形固定資産が８億４千７百万円増加したことなどによるものであります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末の負債合計は1,037億４千７百万円となり、前連結会計年度末と比べ20億２千６百万円増加致しました。これは、支払手形及び買掛金及び賞与引当金が増加したことなどによるものであります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末の純資産合計は523億９百万円となり、前連結会計年度末と比べ16億２千４百万円増加致しました。これは、四半期純利益の計上及び配当金の支払いの結果、利益剰余金が増加したこと及び為替が前連結会計年度に比較して円安となったことにより為替換算調整勘定が増加したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年５月11日に公表した以下の数値より変更はありません。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第２四半期（累計）	78,000	4,300	4,400	2,300
通期	160,000	9,100	9,100	5,400

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,458	22,842
受取手形及び売掛金	45,731	47,227
有価証券	125	129
たな卸資産	22,246	24,417
その他	3,537	3,597
貸倒引当金	△141	△71
流動資産合計	94,958	98,141
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,943	19,956
その他（純額）	21,486	22,321
有形固定資産合計	41,430	42,278
無形固定資産		
その他	981	998
無形固定資産合計	981	998
投資その他の資産		
投資有価証券	10,057	9,495
その他	5,342	5,371
貸倒引当金	△364	△228
投資その他の資産合計	15,035	14,638
固定資産合計	57,447	57,915
資産合計	152,405	156,057
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,266	31,929
短期借入金	25,042	25,749
1年内返済予定の長期借入金	9,110	8,123
未払法人税等	1,245	1,647
賞与引当金	2,024	3,048
環境対策引当金	209	181
その他	5,937	5,799
流動負債合計	73,836	76,478
固定負債		
長期借入金	17,501	17,039
退職給付引当金	7,631	7,432
役員退職慰労引当金	417	421
環境対策引当金	759	733
その他	1,573	1,641
固定負債合計	27,883	27,268
負債合計	101,720	103,747

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,193	9,193
利益剰余金	34,642	35,905
自己株式	△89	△89
株主資本合計	53,786	55,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	629	245
繰延ヘッジ損益	△17	△14
為替換算調整勘定	△5,138	△4,499
その他の包括利益累計額合計	△4,525	△4,268
少数株主持分	1,424	1,529
純資産合計	50,684	52,309
負債純資産合計	152,405	156,057

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	39,661	38,600
売上原価	32,933	31,653
売上総利益	6,728	6,947
販売費及び一般管理費	4,145	3,955
営業利益	2,583	2,991
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	99	86
持分法による投資利益	13	14
為替差益	41	59
負ののれん償却額	22	―
その他	128	179
営業外収益合計	311	350
営業外費用		
支払利息	204	182
その他	28	49
営業外費用合計	232	232
経常利益	2,662	3,109
特別利益		
受取保険金	―	37
その他	0	3
特別利益合計	0	41
特別損失		
投資有価証券評価損	390	43
災害による損失	―	44
その他	18	17
特別損失合計	409	105
税金等調整前四半期純利益	2,253	3,045
法人税、住民税及び事業税	437	1,585
法人税等調整額	454	△407
法人税等合計	892	1,178
少数株主損益調整前四半期純利益	1,361	1,866
少数株主利益	42	46
四半期純利益	1,319	1,820

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,361	1,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	245	△390
繰延ヘッジ損益	7	2
為替換算調整勘定	279	609
持分法適用会社に対する持分相当額	52	103
その他の包括利益合計	585	325
四半期包括利益	1,947	2,192
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,889	2,077
少数株主に係る四半期包括利益	58	114

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額(注３)
	化成品事業	化学品事業	高分子事業	印刷総合システム事業	その他事業（注１）	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	6,536	20,756	4,153	7,715	498	39,661	－	39,661
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	101	6	17	－	4,350	4,476	(4,476)	－
計	6,638	20,762	4,170	7,715	4,849	44,137	(4,476)	39,661
セグメント利益（営業利益）（△損失）	1,101	1,662	619	416	△48	3,749	(1,166)	2,583

（注）１．「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行なっておりません。

２．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,166百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額(注３)
	化成品事業	化学品事業	高分子事業	印刷総合システム事業	その他事業（注１）	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	6,125	20,488	4,207	7,276	503	38,600	－	38,600
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	67	4	23	0	4,192	4,287	(4,287)	－
計	6,193	20,493	4,230	7,276	4,695	42,888	(4,287)	38,600
セグメント利益（営業利益）（△損失）	1,149	1,611	775	631	△43	4,125	(1,133)	2,991

（注）１．「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行なっておりません。

２．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,133百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。